

日本観光学会

第118回全国大会 in 薩摩川内

公開シンポジウム

「知的観光」の すすめ

「地域に関わる、学びを深める」

「観る」「知る」をこえる、

「創りあう」観光へ。

鹿児島県薩摩川内市。

いわゆる「平成の大合併」で東西に長い多様な個性の集まる自治体になりました。

合併から二十年。少子高齢化・人口減少が進むなかにあっても、持続可能な地域づくりを目指し、様々な挑戦が続いています。

そのひとつが「観光」への取り組みです。

従来の「観光地（化）」にとどまらず、地域資源を見直し、「そこにあるもの」の価値を再考し、交流を通じた「創りあう」観光がはじまっています。

鹿児島で先駆的な取り組みを牽引してきた方々、さらに、地域の歴史・芸術・文化に取り組んでいる方々も交え、持続可能な地域づくりと「共創」する「知的観光」の世界へ、参加のみなさまをご案内するシンポジウムにしたいと考えています。

2025

6.21 (土)

14:30-17:00

SSプラザせんだい
多目的ホール

(JR川内駅平佐口すぐ)

地域資源を生かした 持続可能な観光の可能性

— 「知的観光」のすすめ —

2025年6月21日（土） 14:40-17:00

会場：SSプラザせんだい多目的ホール

14:40-14:55 鹿児島県の伝統楽器

(かごしま伝統楽器伝承会メンバーによる説明・演奏)

15:00-15:10 田中 良二 薩摩川内市長 あいさつ

15:10-17:00 パネルディスカッション

「地域資源を生かした持続可能な観光の可能性」

(パネリストと市民らによる、観光を通じた地域創生に向かうための未来への提言)

パネリスト



古木 圭介氏

元 鹿児島県観光プロデューサー
元 肥薩おれんじ鉄道 社長



原口 泉氏

志學館大学
教授



石田尾 博夫

日本観光学会
九州・沖縄支部長
(第一工科大学名誉教授)

コーディネーター

※ 地域・まちづくり団体の方々も参加予定

【お問い合わせ先】日本観光学会 九州・沖縄支部 事務局
メールアドレス：nihonkankou.kyushuokinawa@gmail.com



【会場までのアクセス】

